

吉田病院外来 ガイド

整形外科特集



吉田病院の理念

医療の主人公は患者さま、生活者のみなさまです。わたくしたちは、

- 一、みなさまにわかりやすい説明と必要な情報を提供し、同意に基づく医療を進めます。
- 一、みなさまの人格、プライバシーを尊重します。
- 一、みなさまにまごころをこめて、親切に接します。
- 一、みなさまに必要な医療を地域と連携して提供します。
- 一、みなさまにより良い医療を提供できるよう、自らを磨きます
- 一、みなさまの健康増進のために、全力を尽くします。

四月から整形外科部長に 井上 謙一 医師が就任しました

皆さんこんにちはは、平成十九年四月から整形外科を担当しております井上謙一と申します。今まで整形外科は、火曜日と木曜日の診察のみでしたが、四月から月曜日～金曜日まで平日は毎日診療を行うっております。

土曜日は休診の場合もありますので、受診の際は受付にてご確認下さい。

さて、整形外科とはどんな科かご存知ですか？以前は顔などを美しくする形成外科とよく間違えられました。整形外科は主に骨と関節・筋肉や神経の病気やケガなどを扱う科なのです。

例えば肩こり・五十肩・膝の痛み・腰痛・手足のシビレや筋力低下などがあげられます。具体的な治療法では飲み薬や

シップだけではなく、関節注射や腰のブロック注射なども行っております。

年齢とともに骨がもろくなり、転倒すると骨折しやすくなる骨粗鬆症も整形外科にて診察・治療しております。当院では骨密度を測る新しい検査機器を六月より導入し、血液検査とあわせて診断し、患者様に適した治療法を行っております。

骨に自信のない方は、ぜひ一度当院の整形外科を受診してみたいかがでしょうか。



井上 謙一 整形外科部長
 担当科：整形外科
 旭川医科大学 医学部・卒
 日本整形外科学会専門医
 日本整形外科学会スポーツ医
 日本リハビリテーション医学会認定臨床医

骨粗鬆症とは？

骨粗鬆症は女性に多く見られる、骨がもろく骨折しやすくなる病気です

骨粗鬆症になると骨量が減少し、骨が変化してもろくなり、骨折しやすくなってしまいます。高齢者の方の骨折は寝たきりの原因になる危険性があるので、特に注意が必要です。また脊椎がつぶれたり、変形することによって腰痛や背中への痛みが現れることもあります。

骨粗鬆症が特に女性に多く発症する理由には、女性の骨量がもともと男性よりも少ないことや、閉経後の急激な骨量減少が大きく影響していると言えます。60歳代の女性では約半数、70歳代の女性ではなんと約60%が骨粗鬆症で骨折しやすい状態にあるようです。

今からでも遅くはありません！！いつまでも丈夫な骨を維持して元気に生活できる様に、日常生活の過ごし方を見直してみませんか？

カルシウム
を十分に取らしましょう

カルシウムの
吸収に必要な
ビタミンD
を取らしましょう

塩分の取り過ぎは
カルシウムを利用しにくくします
塩分は控え目に！！

飲み過ぎ

アルコールの飲み過ぎはカルシウムの吸収を妨げます
**アルコールは
控え目に！！**

骨へのカルシウムの蓄積と定着を助けるために
適度な運動を◎

マグネシウムや
リンも骨の材料になります。ですが、リンは取り過ぎにご注意を！！

日光浴も効果的です

禁煙

喫煙はカルシウムの吸収を悪くします
**できれば
禁煙を！！**

骨密度検査が変わりました

より安全に！ よりスピーディに！

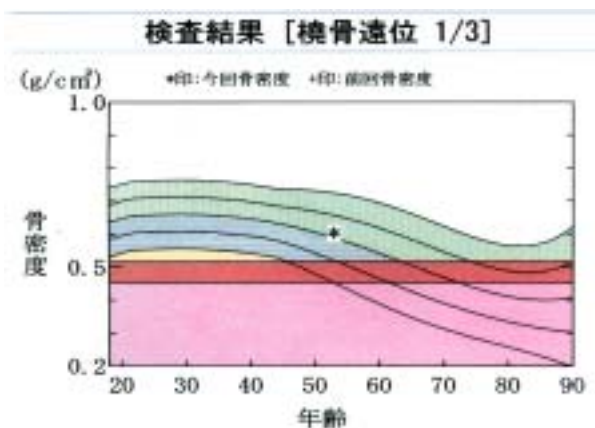


骨密度検査（骨塩量測定）は骨粗鬆症の診断や治療の経過観察などに広く用いられています。特に、当院に新しく導入された装置による橈骨（前腕）での検査には次の様な利点があります。

- ★ 検査時間が短い
- ★ 被爆線量が非常に少ない
- ★ 骨の変形がなく、高齢者の方でも骨診断が可能
- ★ 長期間にわたる追跡測定が可能な優れた再現性を持つ

この様に多くの利点を持つ骨密度検査に近年注目が集まっているようです。

検査結果は下の様なグラフで表示されます



- ★ 骨密度を g/cm^2 で計測した値がグラフの *印と数値で表示されます
 - ★ 同年代と若年成人の各平均骨密度と比較した%値が算出されます
- そしてこれらを考慮した上で、担当医師によって総合的な診断結果が出されるのです！！

写真の様に検査台に肘をまげて置くだけで検査ができます！！
検査時間も数十秒とあっという間に終了です！！



すこやか第14号より、連載コラムがスタートします!!

今月号から【広報誌すこやか】では初となる、連載コラムを掲載することになりました。記念すべく第1回では、執筆者である相羽さんと吉田病院との出会いを掲載します。次号からは写真と共に世界の旅をお届けして行きますので、皆様どうぞお楽しみに!!

相羽 宣甫

世界の旅

連載第1回 私と吉田病院

15年程前、妻の体調が悪化し10日程道央の公立病院へ入院。毎日、様子を見に通った。意識改革が叫ばれていた時期であったが病院職員の傲慢な態度に患者はオロオロし、常に遠慮がち、可哀想に思った。検査結果が判明し手術と成ったが妻はこの病院だけは絶対に嫌と拒否、知人の紹介で道央の民間病院へ緊急入院し手術を受けた。この病院の皆さんは、優しく・親切で、献身的、その対応の違いに驚いた。それ以来、公立病院には行かない事になっている。

退職の前年、貴病院の人間ドックでお世話に成った。皆さんの気遣いに感心した。高血圧を指摘され、以来、月1回の外来でお世話に成っている。退職後、年3~4回のペースで古代の遺跡や中世の建築物を見に出掛けている。

そしてこの度、武田先生からのお話でこちらの広報誌すこやかに旅行記を連載するに至り、稚拙な文章を書く事になった。

世界各地の名所を皆さんにも伝えて行きたいと思う。

相羽 宣甫 (あいば のぶとし) 氏 64歳

上湧別町生まれ

中学校教員を経て公立高校教員、主として道内の農業高校に勤務

平成15年3月美瑛高校長を退職

現在江別市で年金生活、趣味の弓道や旅行を楽しんでいます



医療法人慶友会 吉田病院

内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・外科
整形外科・歯科・口腔外科
リハビリテーション科・放射線科・眼科

月・木 8:30~21:00
火・水・金 8:30~18:00
土・日 8:30~13:00

旭川市四条西四丁目

TEL 0166-25-1115

<http://www.keiyukai-group.com>

